

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

**特集号** 石原ひろたかさんは、「決断と実行の政治で品川の明日を創る」と、品川の未来へ向けた決意を、力強く語っています。

## 衆議院議員 石原ひろたかさん

昭和39年6月19日生。慶應義塾大学卒。日本興業銀行、みずほ銀行勤務を経て、平成17年東京3区より衆議院議員に初当選。現在5期。外務大臣政務官、内閣府副大臣、環境副大臣を務める。現在、党報道局長、党環境・温暖化対策調査会事務局長、党離島振興特別委員会事務局長。衆議院原子力問題調査特別委員会筆頭理事、内閣委員、環境委員、災害対策特別委員



**決断と実行の政治で  
品川の明日を創る**

品川は今日も、ダイナミックに変貌を続けています。品川は、東京の玄関口・国際交流都市であり、副都心として近代的なオフィス、住宅が立ち並ぶまちでもあります。大井町や五反田は再開発によって、新しく生まれ変わろうとしています。

一方で、品川には江戸の昔から交通の要所として栄えたまちなみ、賑わいと人情にあふれる商店街、目黒川や東京湾に面したウォーターフロントがあります。手厚い子育て支援、認知症患者への支援などにより、子どもやお年寄りにやさしいまちとしても知られています。

品川は環境問題にも積極的です。日本最先端の環境施設「エコルとごし」はその象徴です。また交通量の多い都会でのモデルとなる、環境にやさしい自転車通行帯について、隣区や地元の方々と相談し、国道一号線の五反田駅東口から白金二丁目、ゼブラ帯やラバーポールを使った先進的な通行帯の整備を検討しています。



**自転車通行帯の整備イメージ**

荷下ろしなど、やむを得ず駐停車する車はゼブラ帯に。

石原ひろたか

昨年、衆議院小選挙区の区割りが変わり、新しい東京3区は、品川区、伊豆諸島、小笠原諸島となりました。私は、新3区の支部長に就任しました。新支部長として、暮らしやすく、活力にあふれる品川を創るために全力で働きます。そのためには、品川に根を張り、品川のことを最もよく知る品川区議会の同志との連携が不可欠です。品川区政の発展に向け、信頼する仲間とともに全力を挙げて参ります。

**自民党  
品川総支部**  
鈴木真澄区議会議員は今期で勇退されます。  
(敬称略)

大崎第2地域  
**本多たけのぶ**

荏原第3地域  
**渡辺ゆういち**

荏原第3地域  
**わたべ茂**  
しげる

荏原第4地域  
**高橋のぶあき**

大崎第1地域  
**せりざわ裕次郎**

大井第2・3地域  
**こしば新**  
あらた

荏原第5地域  
**西村なおこ**

荏原第5地域  
**まじざわ和昌**  
かずまさ

荏原第2地域  
**ゆざわ一貴**  
いっき

荏原第1地域  
**えのした正人**  
まさと

品川第2地域  
**沢田えみこ**

品川第1地域  
**石田ひでお**

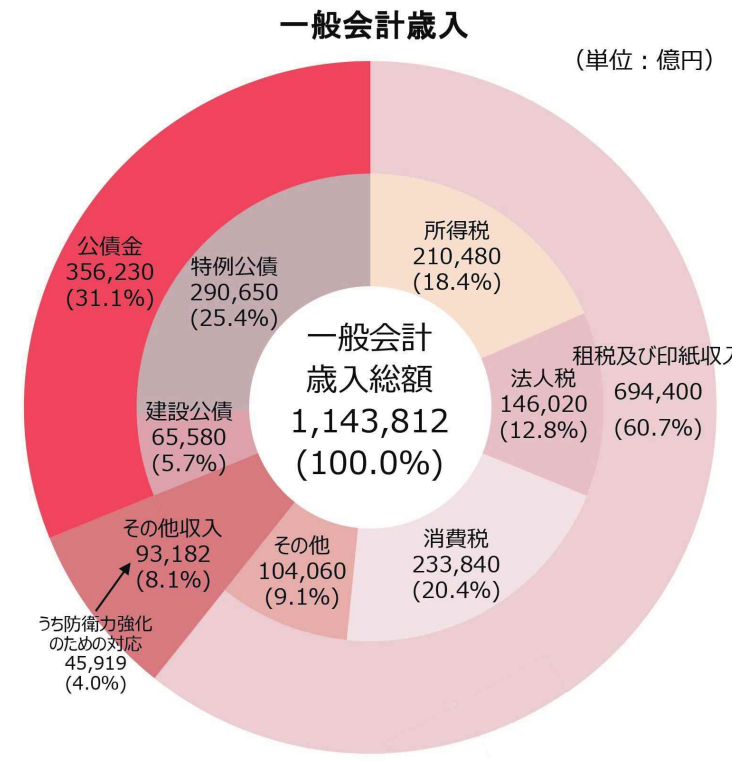
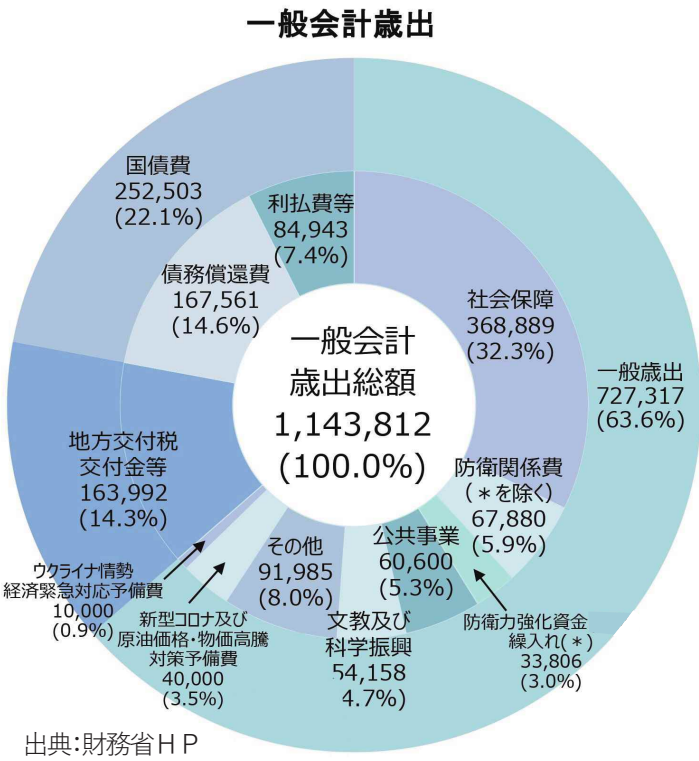
大井第1地域  
**神崎ふみえ**

**石原ひろたか事務所**  
○国会事務所  
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1-813  
☎(3508) 7319  
○大井事務所  
〒140-0014 品川区大井1-22-5八木ビル7階  
☎(3777) 2275

**令和5年度予算が成立しました**

総額114兆3812億円の令和5年度予算が成立しました。物価高の対策に加え、防衛力強化、子育て支援、デジタル技術の活用による地方創生、GXの推進などを盛り込んでいます。

- 緊迫する国際情勢を踏まえ、新たな安全保障戦略を策定。5年間で43兆円の防衛力を整備。
- G7広島サミットや日本ASEAN友好50周年を見据え、新時代リリズム外交を展開。
- こども家庭庁を創設し、こども・子育て支援を強化。
- 出産育児一時金を過去最高の引き上げ幅で50万円に増額。
- 妊娠から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、同時に総額10万円相当の出産・育児用品やサービスの購入を支援。
- GX経済への移行債を発行し、政府投資を呼び水にした、民間のGX投資を後押し。
- 2050年カーボンニュートラル実現に向け、革新的な技術開発やクリーンエネルギー自動車導入を支援。
- リーマンショック後で最高の18.4兆円の地方交付税交付金で地方を支援。
- 新たなデジタル技術を活用した観光・農林水産業などの振興で、地方創生を支援。



**岸田総理に予算委で質問 GX実現への道筋を聞く**

猛暑、暖冬、台風、ゲリラ豪雨など、日本各地で異常気象が頻発しています。世界中で干ばつや水害による被害も広がっています。地球規模の気候変動をくい止めるには、私達が出している二酸化炭素を減らすしかありません。であるならば、二酸化炭素削減の新技术を創出し、その力で日本経済を活性化させる。それが岸田内閣の決断です。



**「皆様の代表として常に国民の目線に立って全ての法律案を徹底的に議論します」**

岸田文雄総理に質問しました。

柔軟かく軽い新型の太陽電池、嵐にも耐える洋上風力発電など、日本には多くの優れた技術があります。岸田内閣は、政府による20兆円の投資を呼び水に、官民合わせて10年間で150兆円の投資で新技术を育成し、GX(グリーン・トランスフォーメーション)を実現します。

予算委員会でも石原さんは、GX実現への道筋について、岸田文雄総理に質問しました。

**内閣委員会で新たな感染症対策のための法改正を審議**

3年にわたる、国民の皆様が不眠の努力により、ようやくマスクなしの日常が戻ってこようとしています。しかし、いつまた日本を新たな感染症が襲うかは分かりません。そんな危機に備えて、新たな感染症対策の司令塔として内閣感染症危機管理統括庁を設置するのが、今回の法律改正の主な目的です。他にも緊

**友だち登録を お願いします。**

石原ひろたかさんの政策、信念、国会や地元・品川区での活動をお届けする公式ラインを始めました。ぜひ、お友だち登録をして石原ひろたかさんの生の声をお聴きください。

急事態宣言や、まん延防止措置の前でも、総理が都道府県知事に、必要な指示を機動的に行えるよう改正します。

石原さんは内閣委員会で、今回のコロナ対策の総括を踏まえ、改正法について後藤茂之大臣に質問しました。また、マスクや水際対策の効果、新型コロナウイルスの5類への移行、今後の中小企業対策、新たに設置される予定の日本版CDCと危機管理統括庁の関係についても議論を深めました。

